

# すずか税のたより

第139号  
令和7年11月発行

## 主催及び発行者

鈴鹿納税貯蓄組合連合会  
TEL 059-371-0711  
(鈴峰企業(株)内)

## 協賛

鈴鹿税務連絡協議会

## 小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿税務署長賞

鈴鹿市立椿小学校  
6年 安積 花凜

令和7年度  
応募状況

## 作文

405編

## 習字

1,530点

## 絵はがき

1,074点

## 標語

2,777点

## 小学生の税に関する習字

鈴鹿税務署長賞

## 中学生の税の標語

鈴鹿中等教育学校 1年 山根 宏太

未税  
未来と

鈴鹿市立一ノ宮小学校  
6年 皆川 凜太郎

三重県教育委員会賞

未税  
未来と

鈴鹿市立稻生小学校  
6年 富村 里帆

知つてほしい 税があるから できること

鈴鹿税務署長賞

## 中学生の 税についての作文

## 東海税務連絡協議会会長賞

## 「うわー、めっちゃキレイやん！」

亀山市立中部中学校 3年 山田 優太朗

駅前に新設された図書館に入った時、思わず声が出た。以前の図書館は大きな公園の近くにあり、僕も公園帰りに時々利用していた。図書館が移転すると聞いた時、正直嬉しくなかった。僕は駅を利用しないし、車も停めにくくなるからだ。しかし『駅前再開発による利便性の向上』という理由で、図書館の移転は進められた。移転するにあたり、どんな図書館にしたいか市民の意見を取り入れていたようで、皆にとって利用しやすい図書館を目指しているのだと思った。今の図書館は、駅を利用する高校生の兄にとっては、利用しやすいらしい。周りの駐車場も整備され、区切られた勉強スペースや多目的室があり、多くの利用者がいた。市民それぞれが目的に合わせ、利用したり交流したりする場所になっているのだなと感じた。

このような公共の建物も、税金で建てられている。市民全員が必要じゃないかもしれないけど、多くの市民の生活がより豊かに暮らしやすくなるよう改善されていく。国會議員や市議会議員に選ばれた人達が皆の代表となり、より良い社会や環境を作る為には何が必要かを考え話し合う。そして予算を決めて実現させていく。その為に皆で出し合うお金が税金なんだと僕は思う。

他にも、前の図書館の近くにある大きな公園は、昭和31年からあるらしいが、木造遊具が古く壊れていて使用禁止になっていた。2年前にリニューアルし、小さい子でも使える遊具がたくさん設置された。誰もが利用しやすい公園に生まれ変わり、以前よりたくさんの家族連れでぎやかになったと感じる。

また、僕の通う中学校付近には横断するのに危険な箇所があり、毎朝警察官が立ってくれていた。そのお陰で安心して通えていたが、最近その場所に信号機が設置された。より安全に便利に登下校が出来るようになり、とても嬉しい。それに、ようやく僕達の中学校にも、以前から検討されていた給食制度の導入が近づき、工事が始まった。共働き世帯が増えている今、お母さん達は助かるだろうし、小学校と同じように皆で同じものを食べられるのもいいなと思う。このように、僕の周りを考えても、税金の恩恵はたくさんある。

僕達子どもも、何かを買えば消費税という税金を納めなければならない。正直、消費税がなかつたらもっと欲しいものも買えるのに、思うこともある。でも、皆で少しづつ納めた税金が大きなお金となって、社会をより良く変えていく力になるなら仕方ないとも思う。

これからの社会、少子高齢化がますます進み、医療や介護、年金など税金を必要とする場面が増えてくると思う。だからと言って税金を納めすぎても、自分達の生活が苦しくなってしまう。限りある財源、大切に計画し使って欲しい。そして僕達子どもも、社会の現状や税金に関心を持ち学ぶ必要があると思う。未来の社会を担っていくのは僕達だから。

## 三重県教育委員会賞

## 税金と未来

鈴鹿市立創徳中学校 3年 中村 亮太

僕たちの暮らしは、多くの場面で「税金」に支えられています。学校に通えるのも、教科書を無料でもらえるのも、すべて税金のおかげです。税金は、国民みんなで支え合うための大切なお金です。しかし、その使い道は限られていて、どこにどれだけ使うかを考えることはとても重要だと思います。

僕は今、中学3年生で、これまで9年間の義務教育を受けてきました。小学校に入学し、毎日授業を受け、友達と学ぶことを当たり前のように感じてきましたが、本当は多くの大人たちが働いて納めてくれている税金によって支えられているのです。

最近は、給食費や高校の授業料が無償になるというニュースをよく耳にします。一見、とても良いことのように思えます。でも、その分、別の支援が削られていることもあると知って驚きました。たとえば、高齢者への100歳を迎えて祝うためのお金が減らされたということです。良いことがあっても、他の大切な支援が犠牲になっているなら、それでいいのか考える必要があると思いました。

僕が特に大切だと思う税金の使い道の一つは、震災の復興です。東日本大震災から10年以上たった今でも、元の生活に戻れず、避難生活を続けている人がいることを知り、とてもショックでした。被災者が元通りの生活ができるようにもっと税金を使うことが大切なではないかと思います。

また、困っている外国への支援も大切です。地震や洪水、戦争などで苦しんでいる国を助けることは、正しいことだし、将来日本が困ったときに助けてくれるかもしれません。支援を通じて、その国との関係もよくなり、交流や、貿易、経済の面でも良い影響は多いと思います。

環境問題も深刻です。海に流されたプラスチックごみによって、多くの生き物が命を落としているニュースを見てとても悲しくなりました。森林伐採により、地球温暖化も進んでしまいます。環境を守るためにには一人ひとりの努力も必要ですが、税金で大きな取り組みを進めていくことも欠かせないと思います。もちろん、給食や高校の無償化も助かる人がいてうれしい制度です。でも、それによって本当に困っている人たちへの支援が減ってしまう可能性がある、優先順位を考え直す必要があるのではないかでしょうか。日本にある限られた税金をどう使うかは、僕たち一人ひとりが考えなければならない問題です。

僕たち中学生も、将来は社会に出て多くの税金を納める立場になります。そのとき、「どこに税金が使われているか」「無駄にならないか」といったことに関心を持ち、自分の考えをしっかり持つことが大切で、将来選挙で投票するときにも役立つはずです。僕も、これから自分の意見をしっかり持ち続けたいです。

## 鈴鹿税務署長賞

### 税金の仕組みについて

鈴鹿市立創徳中学校 3年 横矢 央

私たちの生活にかかせないものの一つに「税金」があります。税金と聞くと、大人だけが払うお金のように思えますが、実は私たち中学生の生活にも深く関わっています。

たとえば、学校の教室や机、体育館、そして教科書なども税金でまかなわれています。道路や公園、図書館や病院、消防や警察の活動にも使われており、私たちは知らないうちに恩恵を受けています。

税金にはさまざまな種類があります。代表的なのは「所得税」と「消費税」です。所得税は働いて得た給料から払う税金で、収入が多いほど多く払う仕組みになっています。消費税は買い物をしたときに必ずついてくる税金で、私たちがお菓子や文房具を買うときにも払っています。ほかにも、ガソリンやたばこなどにかかる税金もあり、集め方は多様です。

こうして集められた税金は、教育や医療、福祉、防災、環境対策などに分けて使われます。もし税金がなかったら、道路は壊れたまま直らず、学校も十分な設備を整えられず、安心して暮らすことはできないでしょう。税金は社会全体を支える大切な仕組みだといえます。

しかし、税金を集めめる方法や使い道については、意見が分かれます。「教育にもっと投資すべきだ」「高齢者への支援を優先すべきだ」「子育てに使うべきだ」など、立場によって考え方は違います。限られたお金をどう分けるのかは難しい問題であり、それを話し合い、決めるのが政治の役割です。そしてその政治を動かすのは、選挙で選ばれた代表者です。だからこそ、私たち国民も無関心でいてはいけません。将来私たちも選挙に参加すれば、税金の使い道を考える責任を負うことになります。

また、税金が正しく使われているかを見守ることも大切です。無駄づかいではないかと思われる使い方が問題になることもあります。私たちが普段からニュースを見て、どんなことに税金が使われているのかを知ることは、社会をよくする第一歩だと思います。

私はまだ中学生なので税金を払う立場ではありません。しかし、将来社会に出れば必ず関わることになります。そのときに「取られるお金」ではなく「みんなで支え合うお金」と考えられるようになりたいです。そして、税金の仕組みを理解することは、自分の生活や社会をよりよくするために役立つはずです。

税金の仕組みを学ぶことは、社会の一員としての自覚を持つための大切な学びです。これからも身近な出来事を通して、税金のありがたさや大切さを意識し続けたいと思います。将来大人になったとき、自分の納めたお金が社会を支える力になっていると実感できるような生き力をていきたいです。

## 鈴鹿税務推進協議会長賞

### わたしたちの暮らしと税金

鈴鹿市立創徳中学校 3年 渡部 紗良

税金は、わたしたちの生活を支えるために欠かせないお金です。学校や道路、公園など身近な場所にも税金が使われています。わたしが住む三重県鈴鹿市でも、税金はさまざまな形で使われています。

例えば、鈴鹿市では税金で公園や道路を整備したり、地区市民センターを運営したりしています。地区市民センターでは、住民票や税の証明書をもらったり、市のいろいろな手続きができます。こうした施設があるおかげで、わざわざ市役所まで行かなくても近くで用事が済ませられます。公園や道路もきれいに整えられていて、子どもからお年寄りまで安全に使うことができます。また、鈴鹿市は防災にも力を入れています。税金を使って避難所となる学校や体育館を整備し、非常用の発電機や備蓄品をそろえています。最近では企業からの寄付と税金をあわせて、災害時にも使えるスポーツ施設の整備が進められています。こうした取り組みは、いざというときに市民の命を守る大切な備えになります。さらに、鈴鹿市内の図書館や文化会館なども税金で運営されています。図書館では無料で本を借りることができます。文化会館では音楽会や演劇が開かれ地域の人たちが文化にふれる場になっています。わたしもピアノの発表会などで訪れたことがあります。こうした施設があることで暮らしをより豊かにしてくれます。一方で、全国的に注目されている事業として「大阪・関西万博」があります。会場の施設には多くのお金がかかっており、特に「2億円トイレ」が話題になりました。その一部に税金が使われています。万博にはお金をかけすぎという声もありましたが、新しい技術や世界各地の文化を発信し、たくさんの人が集まることで経済が元気になるという期待もあります。税金はこのように身近な施設から全国規模のイベントまで、さまざまなことに使われています。その目的は私たちの暮らしをよりよくすることです。身近な施設はすぐに便利を感じられるし、大きなイベントは時間がたってから効果がわかることがあります。

わたしはのことから、税金はただ払うだけのお金ではなく、私たちの未来をつくるために大切なものだと感じました。これから大人になったら、自分も納めることになります。そのときに「このお金は何に使われるのだろう」と関心を持ち、納得できる使われ方をしてほしいと考えます。そして、自分が納めた税金が誰かの役に立ち、地域や日本全体を元気にすることにつながるなら、とても誇らしいと思います。税金の使い道を知ることは、自分の暮らしや未来を考えることだと思います。これからも身近な施設やニュースを通して、税金の働きをしっかり見ていきたいです。



## 鈴鹿税務連絡協議会長賞

### その税金、本当に必要ですか？

亀山市立亀山中学校 3年 相川 翠美

最近よく、「日本の税金は高すぎる」と言われています。私はまだ学生で実際に税金を払っているわけではないけれど、ニュースや家族の会話、SNSでそういった話題を見聞きする中で、「本当に今の税金って、必要な分だけ使っているの？」という疑問を持つようになりました。

税金は、私たちの暮らしを支える大切なお金です。学校、道路、警察や消防、病院など、たくさんの公共サービスは税金によって成り立っています。それ自体はとても大事なことだし、誰もが払わないと社会は回らないというのも分かっています。でも、だからといって「どれだけでも取り立てていい」という話にはならないと思います。私が特に疑問に思うのは、「本当にちゃんと必要なところに使われているのか？」ということです。ニュースでは政治家のパーティー券問題や、不透明な予算の使い方、何億円もかけたのに使われていない施設やアプリなどの報道がよくあります。こうした話を聞くと、「せっかくお母さんやお父さんが一生懸命働いて税金を払っているのに、それが無駄にされてしまうなら意味がない」と感じます。さらに、今の日本は少子高齢化が進んでいて、医療や年金、介護に使うお金がどんどん増えています。その負担を支えるのは、今の若い世代やこれから社会に出ていく私たちです。つまり、将来の日本ではもっと税金が高くなっていく可能性があるということです。今の大人たちが作っていた仕組みのツケを、未来の世代が払うことになるのは、本当に公平なのか疑問に思います。もちろん、税金を払うことがすべて悪いわけではありません。災害が起きたときの支援や、貧しい人への援助、教育の無償化など、社会全体で支え合うために必要なこともあります。ただ、「何に使うか」が明確でないまま、ただ税金が上がるのを納得できません。分かりやすく説明したり、使い道をオープンにしたりして、国民が信頼できるような仕組みが必要だと思います。私はこれから大人になって、自分でお金を稼ぎ、税金を払う立場になります。そのときに、「これは社会のために使われているんだ」と納得してもらえるような仕組みであってほしいです。税金は社会を支えるためにあるものだけれど、納める人の信頼と理解がなければ、本当の意味での「支え合い」にはならないと思います。だからこそ私は、ただ税金を集めただけじゃなく、「どうすれば納得してもらえるか」をもっと考えてほしいと思います。そして私たち国民も、関心を持ち、選挙に行ったり、ニュースに目を向けたりして、税金について考える責任があると感じました。



## 鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

### 気づかないところにある支え

鈴鹿市立平田野中学校 3年 東 乎夏

ある日、学校の帰り道で、交差点の信号が故障していました。車も人も戸惑っていて、ちょっとした混乱が起きていました。でも、しばらくしたある日、作業服を着た人たちが来て、信号を直し始め、次の日には動くようになっていました。

その様子を見ていた友達が「税金ってこうやって使われてるんやな」言いました。正直、私は税金について深く考えたことがありませんでした。「大人が払うもの」「なんか高そうなお金」くらいのイメージしかなかったけれど、そのとき初めて身近な生活の中で税金が使われている場面を自分の目で見た気がしました。

それから気になって、少し調べてみると、信号だけでなく、消防署や病院、公園の管理など、たくさんの場所で税金が使われていると知りました。ニュースでは税金の使い方について政府が色々言われているのは目にしますが、こうした場面や、学校の無償化、病院代のほとんどが税金によって支えられていることを知り、「いい使い方」もたくさんあると思いました。何気なく使っているものや、当たり前のようにある場所が、実は多くの人たちの税金によって支えられているのです。

そういえば、今度、通っていた小学校の体育館が新しくなるそうです。その時も「いつ工事きまつたんやろな」と友達と話していたけれど、あれももしかしたら税金でまかなわれているのかもしれませんと思いました。自分が通っていた学校ですら、税金で成り立っている部分があると考えると、見えないところでいろんな人に支えられているんだなと思いました。税金は消費税しか払ったことがないけれど、すでにその恩恵を受けている立場だということにも気づきました。私がけがして保健室で手当を受けたり、友達が体調をくずして病院に行ったりするときも、そこには税金が関係しているかもしれません。税金のことは普通あまり意識していなかっただけで「ただ」できていることなんて、実はほとんどないんだなと感じました。

私はまだ社会の授業で公民に入っていないので税金について、あまり詳しくないです、でもこうして自分の生活に目を向けてみるだけでも、税金の大切さを少しずつ感じることができます、成人して働きはじめたら、自分も税金を払います。そのとき、高いと感じると思うかもしれないけれど、今の自分のように税金は誰かのために使われ、めぐりめぐって自分の生活を支えてくれるのだと知っていれば、きっと納得してもらえる気がします。

当たり前のようにあるものほど、そのありがたさを忘れてしまいがちです。これからも、身のまわりにあるものを大切にしながら、見えない支えに感謝できる人でありたいです。

## 小学生の税に関する習字

亀山市立川崎小学校  
5年 宗野 凌久鈴鹿市立飯野小学校  
6年 西 美侑鈴鹿市立旭が丘小学校  
6年 三澤 陽莉

鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

## 金賞

鈴鹿市立合川小学校  
6年 菅瀬 なお鈴鹿市立栄小学校  
6年 中尾 爽来亀山市立井田川小学校  
6年 藤田 羽奈

## 銀賞

鈴鹿市立稻生小学校  
6年 松永 莉奈亀山市立井田川小学校  
6年 仲野 美和亀山市立龜山南小学校  
6年 長谷川 惺菜

## 銅賞

鈴鹿市立白子小学校  
6年 加茂 明佳梨鈴鹿市立玉垣小学校  
5年 近藤 結月鈴鹿市立神戸小学校  
6年 伊藤 こはる鈴鹿市立桜島小学校  
5年 西岡 杏夏鈴鹿市立清和小学校  
6年 水谷 心美

## 中学生の 税の標語

## すずか税のたより

## 鈴鹿間税会長賞

亀山市立亀山中学校 1年 松本 結翔

税金は みんなのみらいを作るかぎ

## 三重県間税会連合会長賞

鈴鹿市立創徳中学校 1年 梅川 朔

税金で こぼれる笑顔と 希望の未来

## 鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿中等教育学校 1年 菊澤 慶太

税金で 守つていこう ぼくらの未来

## 鈴鹿税務推進協議会長賞

鈴鹿市立創徳中学校 1年 小坂万莉乃

知ることが 税と関わる 第一步

## 金賞

## 銀賞

鈴鹿市立鈴峰中学校 1年 太田 咲希

税金で 明るい未来が みえる国 税金で 共に作ろう 良い世界

鈴鹿市立鈴峰中学校 1年 羽田 美裕

税金は 正義のお金 大切に！ 税金で 豊かに育くむ 未来の種

鈴鹿市立天栄中学校 1年 渥美 侑斗

税の意義 理解し見える 新視点 税が支えるよ 自分を 日本を 明日を

鈴鹿市立天栄中学校 1年 岡田麻希奈

今知ろう 税の知識の大切さ 税が支えるよ 自分を 日本を 明日を

鈴鹿市立関中学校 1年 中井 芹奈

安心を 皆でつくる 税金で 「当たり前」 支えて いるよ 税金が

鈴鹿市立関中学校 1年 小坂万莉乃

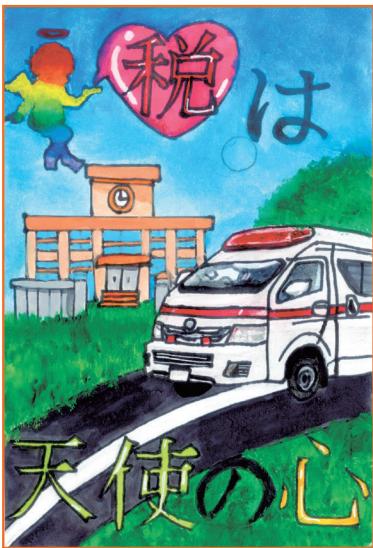
正しく知つて 納めよう みんなの笑顔のためだから

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 佐藤 茉莉

鈴鹿市立白鳥中学校 1年 佐藤 茉莉

## 銅賞

## 小学生の絵はがきコンクール



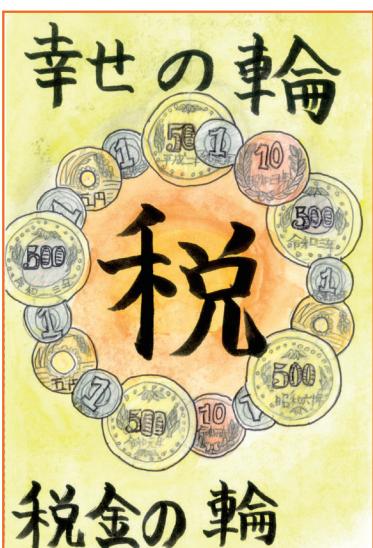
6年 長谷 憲依  
亀山市立亀山南小学校

鈴鹿税務連絡協議会長賞



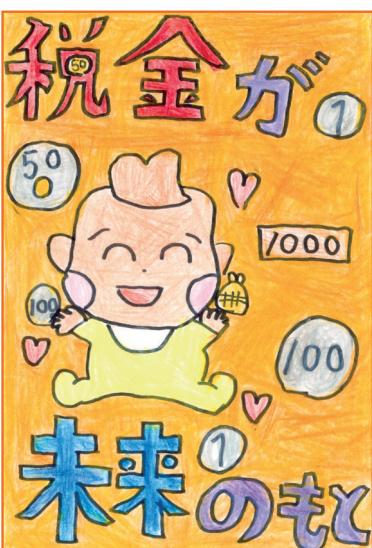
6年 伊藤 翔愛  
鈴鹿市立天名小学校

鈴鹿税務推進協議会長賞



6年 清水 結月  
鈴鹿市立桜島小学校

公益社団法人  
鈴鹿法人会女性部会長賞



5年 大山 ゆず  
鈴鹿市立亀山西小学校

公益社団法人 鈴鹿法人会長賞

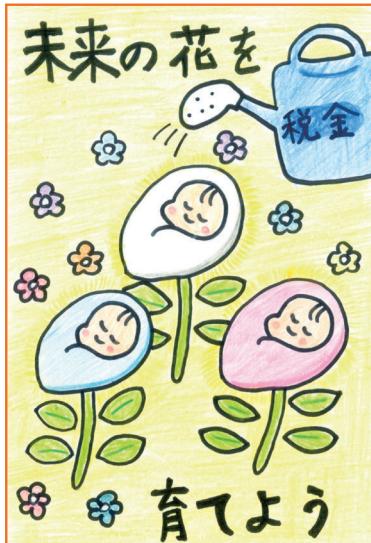
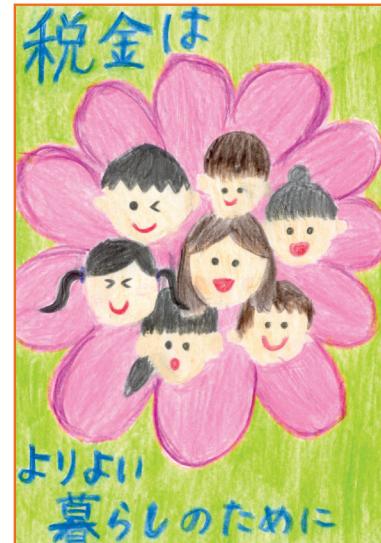
(敬称略)

## 中学生の 税についての作文入選者

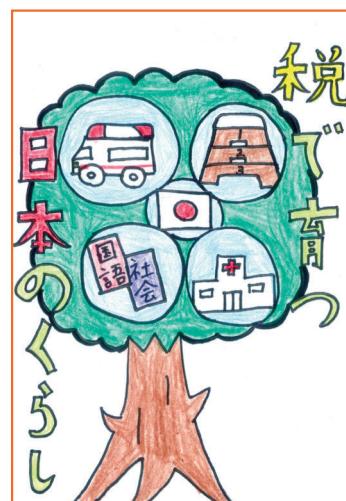
東海税務連絡 協議会長賞	亀山市立中部中学校 3年 山田倫太朗	鈴鹿納税貯蓄組合連合会	金 賞	亀山市立亀山中学校 3年 伊藤 海光
三重県教育委員会賞	鈴鹿市立創徳中学校 3年 中村 亮太		銀 賞	亀山市立亀山中学校 3年 伊藤 暖真
鈴鹿税務署長賞	鈴鹿市立創徳中学校 3年 横矢 央		銀 賞	亀山市立中部中学校 3年 今田 結
鈴鹿税務推進 協議会長賞	鈴鹿市立創徳中学校 3年 渡部 紗良		銀 賞	鈴鹿市立大木中学校 3年 水越 舞
鈴鹿税務連絡 協議会長賞	亀山市立亀山中学校 3年 相川 翔美		銅 賞	亀山市立亀山中学校 3年 行光 心咲
鈴鹿納税貯蓄 組合連合会長賞	鈴鹿市立平田野中学校 3年 東 乎夏		銅 賞	亀山市立亀山中学校 2年 山元 蒼涼

## 小学生の絵はがきコンクール

## 金賞

鈴鹿市立神戸小学校  
4年 岡田 渚鈴鹿市立若松小学校  
6年 美濃辺 沙都鈴鹿市立椿小学校  
6年 岡本 花

## 銀賞

鈴鹿市立玉垣小学校  
6年 小川 愛奏亀山市立川崎小学校  
6年 服部 愛菜鈴鹿市立桜島小学校  
6年 瓦井 大士朗

## 銅賞

鈴鹿市立神戸小学校  
6年 佐藤 芭子亀山市立井田川小学校  
6年 外園 陽葵鈴鹿市立井田川小学校  
5年 市 澄海鈴鹿市立桜島小学校  
6年 天野 心晴亀山市立川崎小学校  
6年 内山 楓花